

(仮称) 小平市こども計画策定に係るこども等の意識・実態調査の概要

1 調査の目的

こども基本法第10条第2項に基づく「(仮称) 小平市こども計画」の策定にあたり、基礎資料とするために実施することを目的とする。

2 調査の方法

(1) 調査名称

(仮称) 小平市こども計画策定に係るこども等の意識・実態調査

(2) 実施内容

調査期間：令和6年11月下旬から3週間程度

① 郵送による調査（2パターン作成）3,000人

- ・高校生年代用（16歳から18歳）1,000人
- ・学生・一般用（18歳から22歳、22歳から29歳）各1,000人

調査の回答は原則WEB対応とする。

住民登録（市内全域）から対象者を無作為抽出ののち、委託業者から対象者へ、調査への依頼とWEB方式における趣旨及び回答方法の説明等を記載した「依頼状」を発送する。

依頼状には、封筒窓枠内に宛名が収まるよう配置し、窓枠から見えない箇所 QRコード、個人のID及びパスワードを記載する。

オンライン回答画面は委託業者が作成する。

② 児童・生徒向けの調査

学習者用端末経由での調査

- ・市立小学校5年生（市内19校、約1,700人）
- ・市立中学校2年生（市内8校、約1,500人）

※人数は（普通学級＋特別支援学級）

調査の回答は原則WEB対応とする。

調査への依頼とWEB方式における趣旨及び回答方法の説明等を記載した「依頼状」を作成し、学校経由で対象者へ配布する。

個人を特定しないID及びパスワードを記載し、同一人が複数回回答できないよう設定をする。

オンライン回答画面は委託業者が作成する。

③ 関係者（青少年対策地区委員会、青少年委員、民生児童委員、保護司）

郵送による調査、タイミングがあれば各定例会等で調査を依頼する。

無記名、自由記述式の調査票を配付又は郵送する。

11月下旬依頼、12月中旬回答締切

3 調査の結果報告等

(1) 集計手順

① 委託業者による集計（2(2)①②）

12月15日締切後 回収率状況報告

1月中旬 集計速報

3月中旬 報告書データ納品

② 事務局による集計（2(2)③）

12月以降集計

(2) 報告

3月中旬～下旬 部会、庁内検討委員会及び青少年問題協議会で報告